

教科〔社会歴史〕第〔1〕学年		年間指導計画	
*到達目標		月	学習内容
<p>(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</p> <p>(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。</p> <p>(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>		4	
		5	
		6	1章 歴史のとらえ方 2章 古代までの日本
		7	1 文明のおこりと日本の成り立ち 2 古代国家の歩みと東アジア世界
		8	
<p>*評価の観点・方法 (年間指導計画「評価の観点」欄の番号と一致)</p> <p>①関心・意欲・態度 (提出物＝ノート、ワーク、ファイル) 歴史的事象に対して興味・関心を高め、授業に積極的に取り組むとともに、課題などを通して意欲的に追求しようとする。</p> <p>②思考・判断 (定期テスト) 歴史的事象の、原因・経過・結果に関する考察を通じて、日本の歴史の流れと各時代の特色を理解し、課題や問題点について説明できる。</p> <p>③技能・表現 (定期テスト、夏休み課題) 課題などを通じて、学習に必要な資料を集めて活用し、まとめて発表できる。</p> <p>④知識・理解 (定期テスト) 歴史的分野の学習に必要な基本用語を身につけ、日本の歴史の流れと他の国との関わりを理解している。</p>		9	
		10	
		11	
<p>*使用教材</p> <p>教科書 新しい社会 歴史 東京書籍 資料集 みつけよう?と!歴史資料 ワーク 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク歴史1～3章 東京書籍 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク歴史4～7章 東京書籍</p>		12	3章 中世の日本 ①武士の台頭と鎌倉幕府 ②東アジア世界とのかかわりと社会変動
<p>*学習上の注意・助言</p> <p>○授業道具を忘れない。</p> <p>○授業中、先生の説明をよく聞き、積極的に発言する。 ・発言(質問)をする時は、挙手をして発言する。 ・みんなが聞き取れるような声で発言する。 ・発言者の意見は最後まで聞く。聞き終えてから次の発言をする。</p> <p>○授業の中で、疑問に思ったことやわからないことがあれば質問する。</p> <p>○考える問題の時は、教科書や資料を活用して、自分の考えをしっかりと持ち、話し合いの場面では、自分の考えをはっきり言う。</p> <p>○授業の内容をノートに記録する。その際、板書だけでなく、先生の説明・自分の考えや授業の感想などもまとめておく。</p>		2	
		3	
<p>*家庭学習の仕方</p> <p>○授業の前日に、家庭で教科書を読む。その際、わからない語</p>			

句や用語があれば、調べておく。

- 授業後、興味をもったことについて調べ、ノートに記録しておく。
- 授業後、ワークを利用して基礎的な用語を覚える。覚えにくい事柄や漢字があれば、何回か書いて覚える。
- 定期テストの前は、教科書・ノート・ワークを利用して基礎的な用語を覚えると共に、歴史上の出来事の「原因」「経過」「結果」について説明できるようにしておく。また、それぞれの時代の資料から読み取り、その時代の特色について表現できるようにしておく。